

平成28年度事業報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

特定非営利活動法人

活木活木(いきいき)森ネットワーク

1 事業実施の方針

戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、豊富な森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を実現するためには、幅広い用途において新しい木材需要拡大に取り組むことが必要である。

このため、国民各層に木づかいの実需を創出・拡大することで森づくりにつながるような幅広い普及啓発活動として、シンポジウム・セミナーの開催、各種イベント等での国産材製品の展示、ポスターの制作・配布等を通じて、木の良さや木材利用の意義を一般消費者に情報発信する木づかい広報を実施したほか、優れた地域材製品等を表彰するウッドデザイン賞を運営した。

また、新たな地域材需要の創出のための製品・技術の開発・普及や、木造建築物・木製品・木質バイオマスなど様々な分野での地域材利用の拡大に対して総合的に支援し、林業の成長産業化の実現を図る必要がある。

このためには、木造公共建築物、木質バイオマス等への林産物の利用促進を図ることが重要であり、この対策のひとつとして、木質バイオマス利活用施設等の整備等に必要な資金の借入れについて利子助成を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 人数	支出額 (千円)
① 森林・環境・木材に関する普及啓蒙事業	正会員及び家族会員に対する森林・環境・木材に関する普及啓蒙活動を行う。	28年4月～29年3月	特に場所を定めない	延43人	一般個人並びに法人(360名)	445
② 木材利用に関する企画・開発・普及事業	⑦ 森づくりにつながるような幅広い普及啓発活動として、シンポジウム・セミナーの開催、各種イベント等での国産材製品の展示、ポスターの制作・配布等を通じて、木の良さや木材利用の意義を一般消費者に情報発信する木づかい広報を実施したほか、優れた地域材製品等を表彰するウッドデザイン賞を運営した。	28年5月～29年3月	日比谷公園、代々木公園、マリンメッセ福岡、東京ビックサイト、農林水産省講堂、農林水産省消費者の部屋、近畿中国森林管理局、熊本県立阿蘇中央高等学校、熊本県立芦北高等学校、サンシャイ	延1,350人	一般個人並びに法人	15,000

			ンシテイ、ブ ライダルヴ イレッジミ ラベル			
	④木造公共建築物、 木質バイオマス等へ の林産物の利用促進 を図ることが重要で あり、この対策のひ とつとして、木質バ イオマス利活用施設 等の整備等に必要 な資金の借入れにつ いて利子助成を行っ た。	28年5 月～29 年3月	八戸市、奥入 瀬町、平川 町、宮古市、 一関市、那須 塩原市、日光 市、富士市、 浜松市、潟上 市、新潟市、 妙高市、岐阜 市、名古屋 市、津市、松 阪市、泉佐野 市、神戸市、 近江八幡市、 福井市、岡山 市、福岡市、 太宰府市、岩 国市、徳島 市、宿毛市、 松山市、都城 市、鹿屋市、 長崎市、大村 市	延2,640人	一般個人並 びに法人(6 万人)	78,588

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施 日時	実 施 場 所	従事者の 人 数	支出額 (千円)
なし					